

第51回明大昆虫セミナー

分類を基盤とした果樹カメムシ卵寄生蜂の研究

松尾 和典 氏

(九州大学比較社会文化研究院)

日時：2018年7月13日(金) 17:10~18:40頃

会場：明治大学 生田キャンパス 6号館204教室

果樹の重要害虫であるカメムシ類（果樹カメムシ類と総称される。主要種はチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの3種）の防除対策は、今のところ、薬剤に大きく依存しています。薬剤は今後も中心的な防除対策であると思われませんが、散布の労力や費用、さらには誘導多発生などの問題が生じており、代替の技術の開発が求められています。そこで、新たな取り組みとして『卵寄生蜂』を天敵として活用する方法が検討されています。

今回のセミナーでは、本邦における果樹カメムシ卵寄生蜂に関する分類学的再検討や設置卵塊による寄生蜂相と寄生率の調査の結果を紹介して頂き、今後の研究について議論したいと思います。皆さま奮ってご参加下さい。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享